

新潟県立長岡聾学校

きこえ通信

令和6年度 第1号

新潟県立長岡聾学校通級指導教室

〒940-0093 長岡市水道町2-1-13

TEL 0258-38-0210 (通級指導教室)

*18:00までをお願いします。メールもご活用ください。

FAX 0258-39-5665

e-mail school@nagaokarou.nein.ed.jp

発行：令和6年4月 文責 柳原



今年は寒さが続きましたが、あっという間に暖くなり新年度のスタートから春らしい毎日です。児童生徒の皆さんは、新年度のスタートを迎え、期待や決意を新たにしましたことと思います。

昨年度に引き続き、近隣の学校の先生方へ「きこえ通信」を発信させていただきます。

難聴通級生徒在籍校だけでなく、このようにさせていただくのは次の理由からです。



1 難聴のある児童生徒への理解を広めたい。

難聴は理解されにくい障害です。1000人に2~3人とされていて、数も少ない方です。難聴がある児童生徒は、一見、困っていないように見えることもありますが、学習や生活で必要なことが伝わらないことがあります。現在、難聴のある児童生徒の在籍校の先生方は、児童生徒を理解して必要な支援をしてくださっていますが、これから難聴のある児童生徒に出会う先生もおられると思います。難聴に関わる情報に触れておくことで、難聴のある児童生徒に出会った時に、理解や支援方法を想起しやすくなると期待しています。

2 きこえにくさがある場合に、支援に繋がることができるよう。

当校は、地域のセンター的機能として、きこえ相談を行っています。医療機関からの紹介もあります。相談に来られた方に医療機関と連携し、学習や生活での工夫などをお伝えしています。毎年健康診断も大切な機会です。片耳難聴や軽度難聴などの場合、支援や受診に繋がらないことがあります。しかし、きこえにくさをそのままにしていると、学習やコミュニケーションに困り感をもつ場合があります。授業等で日頃接しておられる学校の先生方に「もしかしたらきこえにくいのでは?」と気づいていただくと、ありがたいです。

3 難聴の予防のために。

ここ数年、何回か報道されたので「ヘッドホン難聴」をご存じの方もいらっしゃると思います(下記参照)。コロナ禍のため、自宅でヘッドホンやイヤホンで音楽を聴く人が増えました。また、スマートフォンなど音楽を手軽に聴ける媒体が増加しています。一定以上の音量を近くで聞き続けると、耳を痛めてしまい、聞こえにくくなる場合があります。予防できることなどもありますので、このようなきこえの情報をお伝えしたいと思います。

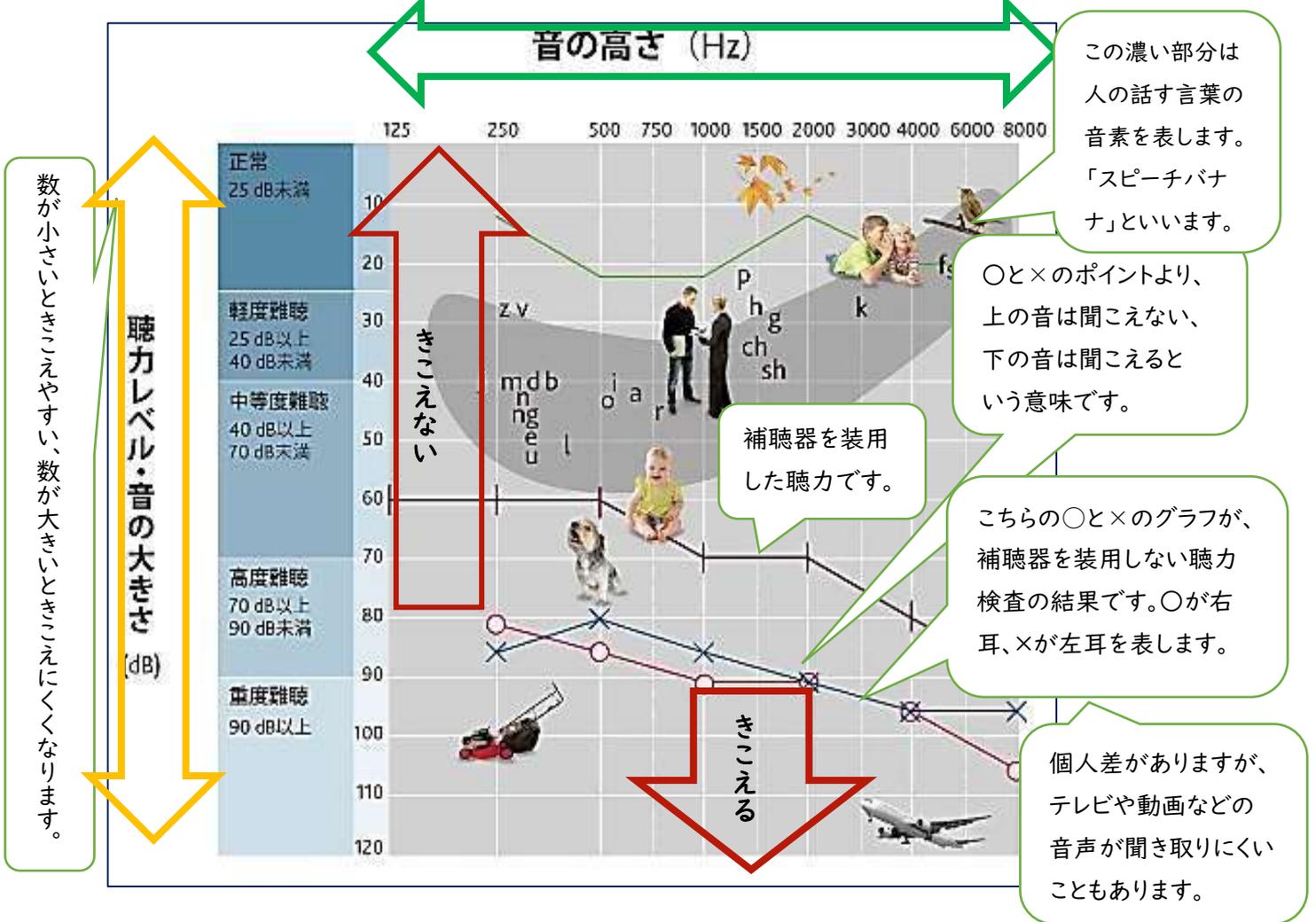
朝日新聞デジタルより 藤原学思 2019年2月13日 9時55分

若者の2人に1人に難聴のリスク——。スマートフォンやMP3プレーヤーで大音量で音楽を聴く若者の増加を懸念し、世界保健機関(WHO)と国際電気通信連合(ITU)は12日、音楽再生機器の使用に関する国際基準を公表した。



きこえ方について(日本コクレア HP より)

病院などで聴力検査をすると、このようなグラフ(オーディオグラム)をもらうことがあります。次のことを表します。



次のような話し方だと、聞き取りやすいようです。該当児童生徒とも相談してください。

前から
後ろからは聞き取りにくいです。

ゆっくり
早口のイメージ
KIKOELIFE HP より

一人ずつ
特にグループ学習など。

文字も使う
文字の情報があると良い場合もあります。

難聴通級指導担当 柳原(やなはら)範子です。

今年度も引き続き通級を担当いたします。当校の通級指導教室は、長岡市と近隣地域の中学生を対象としています。小学生は、長岡市立千手小学校のきこえの教室等へ通っています。通級生徒の学習や生活がスムーズにいくように、生徒本人、保護者の方、在籍校の先生方と協力していきます。また、このたよりが届く先生方からのご相談にも応じたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

職員研修を実施させていただきました！

早くも近隣の中学校からご依頼があり、難聴のある生徒への合理的配慮について情報共有させていただきました。その中でイヤーマフを使用して難聴体験をしていただいたところ、「聞き取るのにエネルギーを使う」「初めて聞く言葉が聞き取りにくい」などの感想をいただきました。この体験を難聴のある児童生徒への理解へとつなげてくださることでしよう。